

飲酒時における注意事項

- 未成年者は飲酒しない、未成年者に飲酒させない。
未成年者の飲酒を傍観しない。

心の問題だけでなく、脳、肝臓、生殖器などにも大きなダメージを与えます。だから未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

未成年者の飲酒を知っていて制止しなかった成年者は、罪に問われる場合があります。

- 飲酒強要（アルハラ）や一気に飲みはしない、させない。

強要したり、はやしたてただけでも、刑事・民事責任を問われることがあります。急性アルコール中毒で死亡した場合、傷害致死罪等に問われる場合があります。ひとりひとりの飲酒するペースを尊重してください。



酔いつぶれたひとが出たなら、

- 絶対にひとりにしないで、責任を持って介抱する。
- トイレに行く時もひとりにしないで付き添う。
- 帰宅する時は、ひとりで帰さず送り届ける。
- 衣服を緩めて楽にする。
- 体温の低下を防ぐため、毛布等をかけて暖かくする。
- 吐物による窒息を防ぐため、横向きに寝かせる。
- 吐きそうなときは、横向きの状態で吐かせる。

抱き起こして、無理に吐かせると、吐いたものが逆流してノドに詰まり、窒息することもあります。横向きにすると、吐物が自然に口から出て、窒息を防ぐことができます。



こんなときは迷わず救急車を呼ぶ

- 体温が低下して全身が冷たい。
- 名前を呼んだり、身体をゆすっても反応しない。
- 息苦しそうにしている。
- 大いびきをかいている。
- 口からあわをふいたり、大量の血を吐いた。

名前を呼んだり、身体を揺すっても反応のないときは、こん睡状態で、「死」と紙一重の状態にあります。わずかなためらいで、助かる命も助からなくなってしまうかもしれません。体面を気にせず、すぐに救急車を呼んでください。

なお、本学学生の場合は、優先的に大学病院へ搬送してもらえます。救急隊員に大学病院への搬送をお願いしてください。



